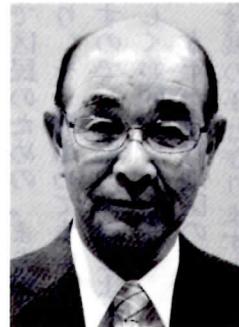


平成 28 年 2 月 1 日 (月)



年頭のあいさつ

藤野地区町内会連合会 会長 寺田 良男



新年明けましておめでと
うございます。

年頭にあたり、謹んでご
挨拶を申し上げます。

皆様方におかれまして
は、ご家族様お揃いで希望
に満ちた新年を、健やかに
お迎えのことと心よりお喜
び申し上げます。

日頃より、町内会連合会
の運営に深いご理解とご支
援・ご協力を賜り、厚くお
礼申し上げます。

この良き新年を、みなさ
まと共に迎えられたのも、
温かいご支援の賜物と深く
感謝いたします。

さて、昨年5月総会にお
いて選任され、藤野丸は船

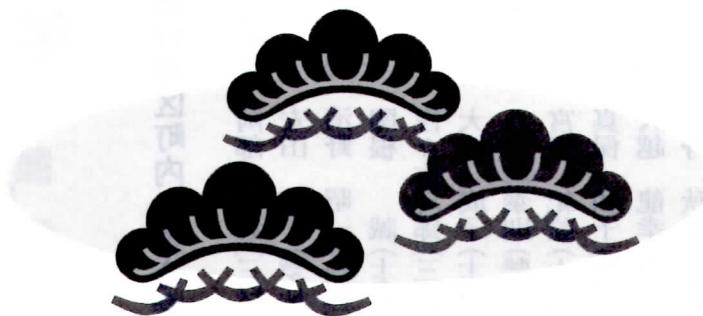
出をしました。それから、
早、7ヶ月が経ちました。
その間8月1日には、「ふじ
のふるさとまつり」を開催
しましたが、理事・班長、
副班長及び各実行委員の皆
様には連日早朝から夜遅く

までご協力いただきありが
とうございました。また出
演者の皆様の日頃の成果の
ご披露に、ご来場の皆様は
楽しんでお帰りになられた
と思います。

この祭りに携わった関係
者のご苦勞に改めてお礼申
し上げます。

町連会報「ルピナス」第
89号（平成26年6月）にて
副会長時挨拶で「住んでよ
かった！」と言ってくれる
ふれあいの里づくりをと題
して述べましたが、町連ほ
か諸団体が開催する諸行事
を通じて交流を深め、優し
さと温もりが伝わる町内会
づくり、そして町内会活動

に若者の出番がある仕組み
をつくり、誰もが安全で安
心して楽しく暮らしていけ
る絆をつくるのが大切な
のでなかるうか？ と思い
ます。藤野丸が順風満帆の
航海が出来ますよう、今年
も更なるご支援をお願い申
し上げると共に皆様方のご
多幸とご健勝をご祈念申し
上げ、新年のご挨拶といた
します。



年頭あいさつ

札幌市南区長 高野 馨



新年明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、輝かしい新年の幕開けを晴れやかに、また、健やかに迎えのことと心より喜び申し上げます。

日ごろから藤野地区にお住まいの皆様には、南区のまちづくりの推進に特段のご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

藤野地区は、町内会連合会を中心として各種地域団体の皆様が「花とみどり・文化と福祉のまち藤野」をまちづくりの指針として協力し合いながら、花いっぱい運動をはじめとする環境美化活動や福祉のまちづく

りに積極的に取り組まれております。

また、自主防犯パトロールや子どもの見守り活動など多岐にわたる活動に一生懸命取り組まれている姿を拝見し、まさに、地域が主体となった「まちづくり」を実践されていると実感しているところであります。

さらに、藤野地区は、「地域保健福祉活動モデル地区」としてさまざまな健康づくり活動を始め、子育てサロンフェスタを開催するなど、他の地区の模範となる活動に積極的に取り組んでいただいております。

皆様の取組に心から感謝するとともに、心強く感じている次第です。

さて、札幌市は、まちづくり戦略ビジョンに掲げる政策目標を実現するための今後五年間の実施計画として「アクションプラン20

15」を策定したところで

南区では、「安心して暮らせるまちづくり」「魅力と活力にあふれたまちづくり」「市民感覚を大切にしたい区役所づくり」を平成二十七年の運営方針として、まちづくりに取り組んでまいりました。今後も引き続き、南区の特長である、美しい自然景観、豊かな観光資源、活発な地域活動を生かして、「任んでよし、訪れてよし」の魅力あふれるまちづくりを進め、その魅力を、全道全国に向けて積極的に発信するよう努めてまいります。

今後皆様のご意見をいただきながら、区民が主役で区民のための「まちづくり」を一層進めてまいりますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

本年が藤野地区の更なる発展の年となりますよう、また、皆様にとりまして実り多き年となりますことを心よりご祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

謹賀新年

平成二十八年 元旦

藤野地区町内会連合会

- | | | | |
|-----|------------|------|------------|
| 会長 | 寺田 良男(巖谷) | 福祉部 | 阿部 昇(三区) |
| 副会長 | 石村 勇雄(十五島) | 地域本部 | 安田 英子(摩子岳) |
| | 仙北 英治(本通) | | 清野 昭一(白樺) |
| | 吉田 健治(野々沢) | | 関根 誠(十五島) |
| | 星野 数夫(摩子岳) | | 佐々木瑾郎(三区) |
| 監事 | 伊藤 邦憲(高台) | 体育部 | 大熊 成子(十五島) |
| | 山形 博(富士見) | | 八重崎泰則(摩子岳) |
| 理事 | 菅野 暁子(第一) | 青少年部 | 宮里 紀詮(十五島) |
| | 大高喜代一(第二) | | 真保 和子(野々沢) |
| | 船越 盛正(三区) | 女性部 | 大越 龍幸(野々沢) |
| | 飯盛 禮子(富士見) | | 河野 秋子(西藤野) |
| | 高田 英敏(緑町) | | 伊藤 洋子(十五島) |
| | 田中 一男(中央) | 文化部 | 斎道 弘子(野々沢) |
| | 岩崎 耐揮(高台) | | 広津真理子(摩子岳) |
| | 是安 恒夫(高見台) | 環境部 | 伊東 慶子(野々沢) |
| | 長谷部 寿(白樺) | | 飴谷加奈男(摩子岳) |
| | 小田 勝義(西藤野) | | 古川 和夫(第二) |
| | 佐藤 順一(白川) | | 八幡 忠幸(三区) |
| | 佐藤 悦子(摩子岳) | | 山口 誠一(富士見) |
| | 船橋 廣光(巖谷) | | |
| | 中西敬一郎(東藤野) | | |
| 会計部 | 堀 武(本通) | | |
| 広報部 | 森永 和雄(高台) | | |
| | 平間 吉春(本通) | | |

新年明けましておめでとうございます

藤野まちづくりセンター

所長 安立 卓也



新年明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、穏やかに新年を迎えられたことと心からお喜び申し上げます。

私が、藤野まちづくりセンターに赴任してから八か月が過ぎましたが、この間、藤野地区の皆さまには、南区のまちづくりに深いご理解と多大なご協力をいただき、心から感謝とお礼を申し上げます。

さて、藤野地区は自然に恵まれた緑豊かな環境を生かして、「花とみどり・文化と福祉のまち」をまちづくりビジョンとし、歩道の花植えや個人のお宅でのガーデニン

グなどの花いっぱい運動、子どもを見守る運動、自主防犯パトロールなどが実施されており、安全・安心なまちづくりに積極的に取り組まれております。

福祉分野では、平成二十六年から平成二十八年の三年計画で、藤野地区が南区より「地域福祉活動推進モデル地区」に選定され、現在、南区

とともに、健康寿命の延伸に向けた取組や「ふじの子育てサロンフェスタ」などを実施してきました。このモデル地区は各区一地区のみの選定

となっており、藤野地区が福祉のまち推進センターをいち早く設置するなど、これまで福祉のまちづくりに一生懸命取り組んできたことが評価されたものです。

防災面では、昭和五十六年八月の土砂災害、一昨年九月の大雨による避難勧告の発令が記憶に新しいところで

すが、引き続き災害に強いまちづくりに力を入れていく必要があります。

また、第十二回目の「ふるさとふじの子ども会議」の開催などの青少年育成活動にも実績があります。

まちづくりセンターとしてもこうした地域のまちづくり活動に對しまして、全力をあげてご支援させていただきたいと存じますので、皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

今年には申(さる)年です。申には病や厄が「去る」との云われもあり、縁起の良いものとして神社などに祭られるなどしています。また、「申年に赤い下着を着ると病が治る」とか「申年に送られた下着を身に付けると元気になる」などの言い伝えが日本各地に伝わっているそうです。

最後になります。申年にあやかり、この一年が皆さまにとりまして健康で幸せな良い年になりますようご祈念申し上げます。新年の挨拶といたします。

賀正

平成二十八年 元旦

藤野地区老人クラブ協議会

顧問	吉田 三郎
会長	塚本 昭一
副会長	岩淵 弘義
監査長	日野 司朗
総務部長	安宅 弘高
会計部長	今村 勲
保健部長	山崎 信高
文化部長	谷敷 数男
	永野 昭夫
	大室 昭夫
	近藤 直樹
	井東 高之
	道雄

頌春

平成二十八年 元旦

藤野地区 民生児童委員協議会

会長	飯盛 禮子
副会長	小田 勝義
監査長	佐藤 順一
幹事	棚橋 昭恵
	高島 昭則
	星野 数夫
	枝川 宏子
	池野 啓子
	菅野 暁子
	澤田 勇
	小野久美子
	林 共栄子
	平野 拓郎
	渡部 弦代
	田中 友子
	多田 豊
	石川美都子
	塚田 純一
	伊東 慶子
	武田 道子
	佐々木真知子
	平賀 順子
	村上ゆかり
	秋坂志津子
	中山 正二
	阿部 昇
	清野 昭一
	鈴木美規子
	鉢呂真希子

地区老人クラブ

藤野紫会会長	山崎 数男
ふじみ会会長	大室 昭夫
藤野一五会会長	関根 誠
藤宝クラブ会長	永野 直樹
南藤クラブ会長	高松 光二
藤野本通クラブ会長	岩淵 弘義
藤野緑クラブ会長	谷敷 信高
野々沢ひまわり会会長	日野 司朗
藤野藤友会会長	塚本 昭一
藤野高台クラブ会長	近藤 高之
藤つる会会長	井東 道雄
こぶしクラブ会長	安宅 弘高
ふじクラブ会長	今村 勲

(主)任

ルピナス短信

町内会紹介

新しい交流館に寄せて

藤野緑町内会 会長 高田 英敏



札幌市と、そうした多くの
人々にお礼を申し上げます。

その日、平成二十七年一
月十四日晴天にも恵まれ、
藤野緑町交流館「みどり
ん」の開館式が町民の喜び
の中、南区長・町連の会長
を始め多くの人々の中で実
施された。

この会館は札幌市の「地
域活動の場整備支援事業」
の補助金によって完成した
ものである。平成二十五年
度・二十六年度の二年に及
ぶ申請によって、札幌市の
許可が下りたものである。
元会長の阪下様・先代の椎
名様外、多くの人々の努力
による結果である。先ずは

それまでのサロンは、築
四十年近くも経た一般の民
家を購入したもので狭く老
朽化していたが今回の改修
工事により手直しされ内装
も一変し利用しやすくなり
他に三十坪の大ホールも完
成された。
その結果、役員会をやつ
との思いで開いていたが、
ゆつたりとした広さの中で
実施できるようになり、子
供会の行事、社会福祉推進
委員会等、他の町内の会館
や地区センターを借りるな
どしてきたが、自分達町内
の会館で計画的に実施でき
るようになった。今、町内
では、朝市・認知症予防教
室・コミュニティカフェ・

マーじゃん・囲碁・合唱・
カラオケ・学習支援・老人
クラブそして子供会の行事
等定期的に実施している。
その実施状況は他の会館等
を借用していた昨年よりも
圧倒的に参加者が増え、盛
況状態にあり、町内の人々
に知己も多くなり、人間関
係もすばらしくなりつつあ

る。
今後、この会館を通し、
種々の行事が多くの人々に
よって、益々活況を帯び、
人々の輪が更に広がり、よ
りよい町内へと発展を願う
ものである。藤野緑町は町
民一人ひとりが終の住処と
定めた処であるから。

六月の声と共に

富士見町内会 会長 飯盛 禮子



富士見町内会活動は、六
月の声と共に一斉に動き出
します。プランターへの花
植え、全戸に配られる花の
苗、役員のみならず町内挙
げて花の配布、町内が活気
づきます。道路にはプラン
ターの花々、各家庭の玄関
先には配られた花が飾られ、
道行く人に安らぎを与え、
それと同時に、朝六時二十

分、公園からはラジオ体操
の音楽が響き渡り、家々か
ら、老若男女集まってきた
す。話に花が咲き、安否確
認、役員のミーティングも
この場を借りて終わります。
体操は十月二十日までの四
カ月間続きます。その後七
時五十分、元気な子どもた
ちの登校を見守り、私の一
日が始まります。
役員会は最小限度、二カ
月に一度の年六回、二カ月
間の報告と次の予定を一時
間ほどで終わらせるように
しています。
全戸すべての世帯が班長、

終われば一人暮らしの高齡
者を除き全戸に役員がまわ
ってきます。それにはいか
に役員の負担を軽減するか、
百十世帯の小さな町内会、
長年引き継がれたこの役員
選出も良いことだと思つて
おります。
しかしもちろん高齢化が
進んでいます。「最後の住み
かは我が家で」と言われて
いますが、一人・二人と施
設のお世話になつて家を離
れる方が多くなりました。
自宅で暮らし続けるための
医療が押し進められるとは
言え、まだまだ多くの問題
を抱えています。少しでも
長く自宅で安心して暮らせ
るようご近所のお付き合い
は云うに及ばず、お互い助
け合つて安心して暮らせる
町内会でありたいものです。
昭和五十年に家がポツポツ
と建ち始め五十四年に町内
会が発足、早や三十七年の
月日が経とうとしています。
これからも皆様のお力をお
借りして安心して暮らすこ
とができる町内会を目指し
ていきたいと思つています。

小さな町内会

白川町内会 会長 佐藤 順一



白川町内会は、戸数二十戸です。町内会加入率は一〇〇パーセントです。山と豊平川にはさまれた長い地形の町内です。昔からの農村地区で一般の住宅が建てられない地区なのです。それは市街化調整区域だからです。昔は兄妹も多く皆親の農業を手伝っていたので、今より人口も多く若い人も多かったのですが、現在は後継者以外町内から出て行くので人口が減ってしまっただけです。現在は小学生、中学生が一人もおりません。三才になる男の子一人です。人口は六十二人で高齢化率五十三パーセントで、その内八十才以上が二十パーセントになりました。

十数年前までは老人クラブも有ったのですが出席人数も減り解散してしまいました。現在は町内会の行事も何も出来ない状況です。年一回ですが日帰り温泉で交流をしているだけです。

ただ幸いに町内の九パーセント以上の人が、おたがいの家、顔、名前がわかるので見まわりもしやすい町内です。元は小学校も有ったのですが、ちょうど四十年前現在の藤野小学校に統合されました。

藤野の皆様にお知らせがあります。平成二十七年末から白川と十五島公園にかかっているつり橋(白川橋)の補修工事が二十八年二月には終わり三月にはきれいな橋になりますので一度渡って白川地区を見て下さい。北方教育園、市民の森も有ります。以上簡単ですが我町内会を紹介しました。

藤野太鼓保存会

北門信金まちづくり

基金より助成

藤野太鼓は昭和五十九年藤野開基一〇〇年を記念して創設され、平成6年開基一一〇年を迎えて藤野太鼓を地域文化として末永く伝承するために、藤野地区町内会連合会が主体となり藤野太鼓保存会が結成されました。主な活動として、ふじのふるさと祭り、藤野神社奉納太鼓、町連新年交礼会、さらに福祉施設等の訪問、ジュニアコンクール参加等伝統文化活動の継承に積極的に努めてきました。それらの日頃の活動が評価され、このたび、一般財団法人北門信用金庫まちづくり基金(理事長小嶋俊明氏)より助成金が交付されました。



大高氏選挙関係功労者

表彰で内閣総理大臣表

彰を受賞



昨年が明治二十三年七月一日に第一回衆議院議員総選挙が執行され、国民が初めて国政に参加するようになってから百二十五周年、二十五歳以上の男子による普通選挙が確立されて九十年、昭和二十年十二月十七日に衆議院議員選挙法が改正され、女性に参政権が賦与されてから七十周年にあたりました。これを記念して選挙啓発運動等に顕著な功績をあげられた方々に対し、選挙関係功労者表彰がありました。本表彰で藤野地区町内会連合会の前会長の大高喜代一氏が札幌市南区明るい選挙推進会長と

休日住民集団 健診のお知らせ

通常週日に実施している健診を休日に行います。当日は骨密度、肺年齢の測定、保健師、栄養士による健康相談、適切な塩分の味噌汁試飲などもあります。各コーナーは健診を受診されない方も参加できます。健診日時：平成二十八年二月七日(日) 九時半～十一時受付
会場：藤野地区センター
健診対象：四十歳以上の国民健康保険加入者の方
持物：受診券、健康保険証、昨年の健診結果(お持ちの方のみ)
問い合わせ：南区健康・子ども課 581-5211

新年子どもカルタ大会

一月十六日(土)地区センターアリーナで標記の大会が開かれた。町内会チ

ーム、個人参加の部、中学生保護者(個人)の部に分かれて熱戦をくり広げた。

静かな雰囲気の中、瞬時に木札をとる動きに場内は拍手がおこる場面も見られた。

試合結果は次の通り。
(町内会チーム、個人参加)
一位いづみ、二位めやの
三位高台A(五チーム)



(中学生、保護者、個人)
一位けんすけ(四チーム)

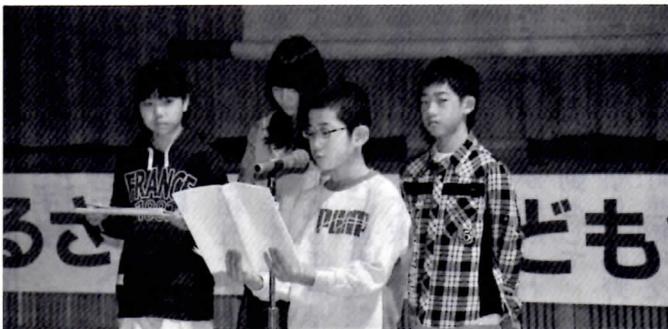
・今年は、単独チームが少なく個人が会場でチームを編成するのが多かった。



新年書初め会

新年書初め会は、一月十六日(土)藤野地区センター・アリーナで行われた。

今年は小学三年以上が八名、二年以下が六名の十四名が参加。なかなか活気のある会になった。



第十二回ふるさとふじの子ども会議

「美しい心」「流れる星」「努力する」「さるどし」「がんばる」「こころ」等の文字を伸び伸びと大きく力強く書いていた。
今年には昨年より参加者が二名増えた。この二年少しずつではあるが参加者が増えて来ている。来年は更に参加者が増えることを期待したい。



平成二十七年十二月十二日(土)藤野中学校体育館において「第十二回ふるさとふじの子ども会議」が開催されました。

来賓として南区長高野馨氏、藤野まちづくりセンター所長安立卓也氏、各学校の校長、教頭が出席、寺田町連会長の挨拶のあと、各小中学校の発表がありました。発表内容は次のとおり。

藤野南小学校

① 藤野商店街を元気にしよう

- ② 子どもが使いやすい遊び場、だれもが楽しめる遊び場を作る。
 - ③ 公共施設を活用してイベントを催そう。
- 藤の沢小学校
- ① 定山溪鉄道の歴史
 - ② 藤野にある公園
 - ③ 藤野の自然
- 藤野小学校
- 私たちの夢の職業
四名の児童による将来就きたい職業や藤野の未来について発表。
- 藤野中学校
- クローズアップ藤野
南区の現状(人口推移)藤野の魅力(自然、公園、地域、パトロールなど)
発表のあと各学校間でディスカッションが行われました。最後に高野区長から講評があり会を閉じました。今回は、子どもたちによる地域の将来についての発表があり、百名以上の参加者は各所でうなずいて聴きっていました。来年以降も多くの参加者を向かえ、この会が続いてほしいものです。

平成二十八年

ふるさとふじの 新年交礼会

藤野地区で地域活動を実践している各種団体の役員と町内会の役員の方々が集まり、一月九日(土)午後二時より藤野地区センターアリーナにおいて恒例の新年交礼会が開催された。

参加者は五十七名の来賓の方を含めて約一八〇名。オープニングはふるさとふじの文化として定着した

藤野太鼓保存会の子供たちによる藤野太鼓の演奏。一段と迫力ある演奏が会場全体に響きわたる。

吉田健治町連副会長の司会で会はスタート。仙北英治町連副会長による開会のことばに続き、今年も、参加者全員による「藤野賛歌」の斉唱があった。その後、主催者挨拶が町連寺田



良男会長から社協田中義一会長(欠席)に代わって両方の立場で挨拶があった。当日は南区内で七つの新年交礼会が開催されており南区長、議員さんはかけもちしているという紹介も遅れ来賓祝辞は高野馨南

区長からのみ。

鏡開きの後、石村勇雄町連副会長の乾杯の発声で開宴。各テーブルでは新年への抱負等が語られ宴は盛りあがっていった。

藤野地区鑑賞会

十二月十二日(土)藤野中学校において「藤野地区鑑賞会」が行われました。藤野太鼓保存会、藤の沢町小学校金管バンド、藤野小学校吹奏楽部、藤野小学校スクールバンド、藤野南小



学校スクールバンド、藤野中学校吹奏楽部が、それぞれ普段の練習の成果を地域の皆さんに披露しました。

最後に藤野中学校の演奏で参加者全員が「ふるさと」を合唱しました。

投稿コーナー

仏様の箸

ホトケサマ ハシ

私は、死の世界は知りませんが、この物語を或る人から聞き殺伐としている現代の人々に考え教えられるものがあると思

丹治 友香 (八十八歳) した。自分の口に食事を運ぶ事ができずご馳走は散乱し泣き喚く者もあり大騒ぎでした。

い書いております。地獄の国の人々は食事中で美味しい品数も多く美しく並んでおりますが、その人の姿は瘦せた餓鬼達で、二メートルもある箸をつかい、「こんな長い箸で食べられない」とワイワイ騒いでおりました。此の箸は仏様が箸の上の方で持つて食べてはいけない様にしてあります。

極楽の方は長い箸を上手に使い前にいる人の口に食物をお互いに与えながら食べては笑い話をし、感謝し助け合って穏やかに料理を食べていました。さて、皆さんこの話を聞いて何を感じたでしょう。うか。現世も極楽のような心をもった人達が多ければ、明るく生きられると思えます。

編集後記

昨年ノーベル物理学賞に梶田隆章氏、医学生理学賞で大村智氏が授賞された。日本中が二人の業績に心から拍手を送った。

しかし、昨年一年の世相を漢字一字で表す。今年の漢字が「安」に決まった。安保関連法成立への不安、世界各地で起きたテロ事件や国内にも広がる恐れ等が理由として拳がった。

今年はブラジルでオリンピック、パラリンピックが開催される。選手の皆さんには日頃の練習成果を晴れの舞台で発揮し、自己ベストを更新してほしい。彼等の挑む姿は私共に勇気と感動を与えてくれる。(J)

ルピナス第九四号

・平成二八年二月一日発行

・発行人

・編集人

寺田 良男

森永 和雄

平間 吉春

生出 隆亮

定塚 章

札幌大同印刷(株)

・印刷所

・連絡先

☎五九二一四一七八(森永)